

—成分形変成シリコン系弾性接着剤

床根太・床仕上げ接着剤

アクアタイト

低粘度タイプ **内装用**

建築・内装工事での床根太、
木質床仕上げ材の接着に最適。
鋼製束やプラスチック束などにも
床面についてもキレイに除去可能。

ノンホルムアルデヒド製品

JAIA F ☆☆☆☆
JAIA 4VOC基準適合



手しぼり
でも



ガン
でも

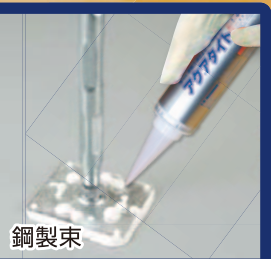
施工イメージ



床根太



床仕上げ



鋼製束

一成分形変成シリコン系弾性接着剤

JAIA
F☆☆☆☆ / 4VOC基準適合

床根太・床仕上げ接着剤

2003年7月1日に「改正建築基準法」が施行され、JIS F☆☆☆☆(経済産業省)と、JAIA F☆☆☆☆(日本接着工業会)の適合製品は、居室の内装仕上げにおける使用面積制限の対象外となり、「制限なしに使用できる」とされています。

アクアタイト

低粘度タイプ 内装用

健康住宅対応品(ノンホルムアルデヒド製品)

健康を損なう可能性がある揮発性有機化合物(VOC)

①ホルムアルデヒド②アセトアルデヒド③トルエン④キシレン⑤エチルベンゼン⑥スチレン⑦パラジクロロベンゼン⑧テトラデカン⑨クロロピリロス⑩フェノプロカルブ⑪ダイアジノン⑫フタル酸ジ-n-ブチル(可塑剤)⑬フタル酸ジ-2-エチルヘキシル(可塑剤)を配合していません。

※厚生労働省指針値策定(2002年1月22日現在)

従来の「木質床仕上げ接着剤」との違い

ビード塗布でもOK!

ウレタン系のような硬化時の発泡現象がなく、水性系・溶剤系のような肉やせなどがほとんどありません。

粘度変化が少ない

温度環境による接着剤の粘度変化が少ないため、施工時の接着剤のタレ、糸引き、冬場の押し出しづらさを解消。

総揮発性有機化合物量(TVOC)は、400 μ g/m³以下

次世代の木質床仕上げ接着剤として、室内空気汚染の改善をいたしました。

優れた弾力性で床鳴りを防止

硬化被膜は、優れた弾力性を有しているため、接着剤に起因する床鳴り防止に硬化があります。

広範囲の木質床仕上げ工事が可能

床仕上げ、床根太、床暖房、鋼製束、プラスチック束など、広範囲の木質床仕上げ工事に使用できます。

特長

- 従来の木質床仕上げ用の接着剤と比較して、ウレタン系のような硬化時の発泡現象がなく、水性系・溶剤系のような肉やせなどがほとんどありません。
- 温度環境による接着剤の粘度変化が少ないため、施工時の接着剤のタレ、糸引き、冬場の押し出しづらさを解消します。
- フローリング材表面に接着剤が付着した場合でも除去できます。かたまる前の接着剤は、布で拭き取ってください。硬化した接着剤は、樹脂板等で床材を傷つけないようにできるだけ除去し、消しゴムでこすり取り、最後に布で拭きあげてください。
- 建築基準法に配慮したノンホルムアルデヒド製品(F☆☆☆☆)です。
- 健康を損なう可能性がある揮発性有機化合物(VOC)としての13物質を配合していない「健康住宅対応品」です。
- 硬化物は、高い「弾力性」を保ち、衝撃や振動に強く、被着材同士の膨張・収縮の応力を吸収し、耐久性に優れています。
- 高粘度のマスチック型ですので、凹凸面への充てん接着剤としても、使用できます。
- カートリッジガンでの塗布のほかに、手しぼりでの塗布作業性も良好です。

用途

- ツーバイフォー工法や在来工法でのモルタル下地と根太、床パネルと根太との接着。
 - 木質フロア仕上げ材と合板、パーティクルボードなどの木質下地材との接着。
 - 床暖房用パネルへの接着。
 - 鋼製束・プラスチック束の接着。
 - 二重床フローリングの施工。
- ※軟質塩ビ・ポリエチレン・ポリプロピレン・シリコンゴム・フッ素樹脂等には接着しません。
※接着面に直接、日光が当たる用途(透明ガラス・透明プラスチック)には、接着できません。

マルチパックの使用方法

- ①下地、仕上材の汚れ・ゴミ・ほこり・サビ・油・ワックス・離型剤・レイタンスなどを取り除いて、必ず乾燥させてください。
- ②下地、仕上材のバリや不陸を取り除き、平坦に仕上げてください。
- ③【手しぼりで使用する場合】ノズル口のアルミフィルムをカッターなどで破り、ノズルを取り付けて塗布してください。
【カートリッジガンで使用する場合】カートリッジガンの筒に挿入した後、ノズル口のアルミフィルムをカッターなどで破り、ノズルを取り付けて塗布してください。ガンの種類によっては、ガン筒に挿入した後、ノズル口を開けノズルをセットしてからガンのフロントキャップを締め塗布してください。
- ④ノズル先端を塗布面にあて、床材と直交方向に150~300mmの等間隔で、ビード(線状)塗布をしてください。標準塗布量 [約150~300g/m²]
- ⑤塗布後、直ちに床材をはり合わせて、必ず釘打をしてください。
※床束施工に使用する場合は、束のベースプレート底面に、本製品を塗布してください。標準塗布量 [鋼製束は、約30g/個、プラスチック束は、約60g/個] (束を床に押し付けた時に、本製品がベースプレート周囲から約5mm、ベースプレートの隙間から、約10mmはみ出すが目安)
- ⑥接着剤が硬化するまでは、接着部材を動かさないで、養生してください。浮きが生じている場合には、荷重をかけて、接着剤が硬化するまで固定してください。
※フィルムパック・カートリッジは製品容器に記載されている使用方法に従ってください。

■施工時の目安

施工温度	冬(5℃)	春・秋(20℃)	夏(40℃)
貼合せ可能時間の目安	塗布後 30分以内	塗布後 10分以内	塗布後5分以内
実用強度発現の目安	貼合せ後 48時間以上	貼合せ後 12時間以上	貼合せ後 6時間以上
完全硬化時間の目安	3~4日	2~3日	1~2日

※上記に示す数値は、施工温度、相対湿度、塗布量、接着剤の厚み、接着部材の構成などにより変化します。

■施工時の注意事項

- ぬれた状態、汚れが付着した状態での施工は避けてください。はく離の原因となります。
- 低温(5℃以下)時や多湿(結露)時の施工は避けてください。硬化や接着不良の原因となります。
- 接着剤の「弾力性」を発揮させるためには、硬化物の厚みを1mm以上となるようにしてください。
- 接着剤がフローリングの表面などに付着した場合は、すみやかに拭き取ってください。(いったん硬化してしまった接着剤は、容易に取り除くことはできません。なお、有機溶剤を使用する場合には、床材表面に影響が出ないか確認の上、ご使用ください。)
- 本製品は空気中の「水分」で硬化するため、非多孔質土の接着には使用できません。
- ポリウレタン系のシーリング材・接着剤と、本製品を同時に使用すると、ポリウレタン系の製品が硬化しないことがありますのでご注意ください。
- 硬化物の適応温度範囲は-30~90℃(連続的ではない)で、通常の自然環境にさらされる場合を想定しています。
- 長時間水に浸漬するような部位には使用できません。

■取扱い時の注意事項

- 取扱い時には、作業衣・保護眼鏡・保護手袋などを着用してください。
- 本製品を長時間多量に吸入すると、健康を害するおそれがありますので、必ず換気をよくしてご使用ください。
- 目に入った場合は、直ちに流水で15分以上洗い流し、医師の診断を受けてください。コンタクトレンズ使用者は、できる限りコンタクトレンズを外して、洗眼してください。
- 長時間、皮膚に付着したままにしないでください。すみやかに付着物を拭き取り、水と石ケンでよく洗い流してください。
- 開封後は、すみやかに使い切ってください。
- 直射日光を避け、湿気の少ない冷暗所(5~35℃)で保管してください。
- 本製品は建築用に開発・製造されたものです。記載の用途以外には使用しないでください。(シーリング用途には、使用できません。)
- 本製品は使用方法・使用条件によって、本来の性能を発揮できない場合があります。事前に目的の用途に適合するかを必ず確認の上、ご使用ください。
- 硬化物は廃プラスチックとして廃棄処理をしてください。
- ※使用にあたっては、安全データシート(SDS)をお読みください。
※その他ご不明な点は、弊社にご相談ください。

■容量・形態・梱包数

- 760mlマルチパック 12本/箱x1梱包
- 760mlジャンボカートリッジ 12本/箱x1梱包
- 760mlフィルムパック 12本/箱x1梱包

株式会社 日本アクア

東京都港区港南2丁目16番2号
TEL: 03-5463-1117 (代表)

http://www.n-aqua.jp
アクアフォーム 検索

